



平成29年11月2日

各位

上場会社名 応用地質株式会社
 代表者 代表取締役社長 成田 賢
 (コード番号 9755)
 問合せ先責任者 取締役専務執行役員 事務本部長 平嶋 優一
 (TEL 03-5577-4501)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年2月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,000	2,600	3,000	1,600	59.09
今回修正予想(B)	45,500	600	1,000	700	25.85
増減額(B-A)	△4,500	△2,000	△2,000	△900	
増減率(%)	△9.0	△76.9	△66.7	△56.3	
(ご参考)前期実績 (平成28年12月期)	51,323	1,579	2,012	1,381	51.02

修正の理由

当期は、第3四半期(7-9月)において、資源探査市場の回復に伴う調査・コンサルティング事業の海外海洋探査の受注を見込んでおり、国内では前期にあった大型業務を補うために近年増加している自然災害関連の調査・モニタリング業務を中心に受注を計画しておりました。しかし、下げ止まり傾向を見せていた原油市場は、上昇基調が見られず海洋探査の発注が遅れ、受注高が減少しております。また、国内においても公共事業の自然災害関連の発注量が想定を下回り、計画していた受注高を確保できない見込みとなりました。

売上は、第3四半期の受注が計画を下回ることによる下期の減収要因に加えて、天候悪化等の影響などによる調査業務の進捗の遅れに伴い計画を下回る見込みです。また、進捗の遅れに伴う待機コスト(資材、外注費)の増加や減収に伴う固定費率の増加により、第3四半期(7-9月)には損失を計上する見込みであるとともに、第4四半期の利益水準も当初計画を下回る見込みとなりました。

これらの状況から、通期連結業績予想を上記の通り修正いたします。

注)上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上